

年頭のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。
います。

輝かしい平成27年の新春を健やか
にお迎えのことと心からお喜び申し
上げます。

日頃から御前崎市政に対し、格段
のご理解と、ご協力を賜り深く感謝
申し上げます。

自然災害の脅威と、 個の技が注目された1年

昨年は、豪雨による土砂災害や火
山の噴火災害など、自然災害が猛威
を振るい、あらためて自然の恐ろし
さを思い知らされた年でありまし
た。中でも9月の御嶽山の噴火にお
いて、御前崎市民2人の尊い命が失
われたことは哀惜の念に堪えませ
ん。市民が安全安心に暮らすこと
のできる災害に強いまちづくりの必
性をあらためて感じました。

また、喜ばしい話題としては「富
岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文
化遺産に、「手漉和紙技術」が無形文
化遺産に登録され、12月には日本
人3人がノーベル物理学賞を受賞す
るなど、日本の伝統技法や科学・技術

力が世界に認められた年でもあり
ました。

市内に目を向けますと、本市出
身の飯塚翔太さんが韓国仁川（イン
チョン）で開かれたアジア競技大会
陸上競技4×400メートルリレー
で金メダルを獲得、また、全国理容
競技大会では小杉健太さんが静岡県
勢としては59年ぶりの全国優勝、増
田裕子さんがふじのくに芸術祭にて
日本画で芸術賞に選ばれるなど、さ
まざまな技が光る大変喜ばしい年
でありました。

誰もが住みやすいまちへ

国立社会保障・人口問題研究所が
公表した御前崎市の人口推計予測値
は、平成22年の総人口3万4700
人が、平成52年には2万7901人
と、6799人減少すると予測され
ています。

この要因としては、本市の労働雇
用環境も大きく影響しています。出
産や子育てへの不安も大きな要素
であると考えられます。仕事と子育
ての両立を支援し、市民が安心して
暮らせる環境整備が喫緊の課題と

新たな一歩を

力強く踏み出す

決意の年



御前崎市長 石原 茂雄